

公益社団法人 地盤工学会  
**基 準 部 会**  
 2018 年度（平成 30 年度） 第 2 回 議事録

担当：峯岸邦夫

日 時	2018 年（平成 30 年）7 月 3 日（火）14:00-16:40	場 所	地盤工学会
-----	--------------------------------------	-----	-------

出席者			資料 番号	配 付 資 料
部長*	堀越 研一	○	30.2.0	2018 年度（平成 30 年度）第 1 回基準部会議事録（案）
理事*	大嶺 聖	○	30.2.1	予算執行状況、書籍売上・在庫数
幹事	峯岸 邦夫	○	30.2.2	平成 31 年 2 月号「国内外の基準」構成（案）
部員	浅田 素之	○	30.2.3	基準小冊子（一軸引張り）増刷案、見積書、支出予算
部員	伊貝 聡司	○	30.2.4	理事会議事録（2018/4/20, 5/18, 6/15*）6/15 は議題書
部員	海野 寿康	○	30.2.5	基準部関係の規程・細則一覧
部員	小早川 博亮	×	30.2.6	経産省受託事業 実施計画書（広域地盤特性 WG）
部員	肴倉 宏史	×	30.2.7	JIS 原案作成委員会 分科会開催記録
部員	佐藤 毅	×	30.2.8	第 1 回地盤調査規格・基準委員会報告
部員*	佐野 浩一	○	30.2.9	JIS A 1221:2012 スウェーデン式サウンディング試験方法改正スケジュール（案）
部員	仙頭 紀明	○	30.2.10	基準部関係ウェブページの掲載方針
部員	武政 学	○	30.2.11	
部員	中村 貴久	—	別添-1	基準部関係の規程・規則
部員	平井 貴雄	○	別添-2	JIS 原案作成委員会 分科会開催日程および名簿
部員	藤原 照幸	×	別添-3	JIS 原案作成委員会 分科会指摘事項
部員	吉田 敬	○	別添-4	基準への質問（2017/7/31～2018/6/25）
※	中川 直	×	30.2.16	
※（副会長）	木村 亮	×	追加-1	2017 年度基準関係出版物等収益の月次集計
			追加-2	基準部としての懸案事項
			30.2.19	
			30.2.20	
			30.2.21	
			30.2.22	
			30.2.23	
			30.2.24	
			30.2.25	
			30.2.26	
			30.2.27	
			30.2.24	
			30.2.25	
			30.2.26	
			30.2.27	
事務局	齋藤／長尾	○		

※オブザーバー  
 \*：本年度新任  
 ◎：代理出席  
 ○：出席予定  
 ×：欠席予定  
 ☆：出席（電子会議）  
 △：未定

基準部会開催に先立ち、堀越新基準部長より挨拶があり、その後、出席者全員による自己紹介が行われた。

## 審議事項

1. 前回議事録の確認 (資料—30.2.0, pp.1-6)  
峯岸幹事より、資料に基づき説明がなされ、審議の結果、特に異論なしで承認された。
2. 全体関係
  - (1) 予算執行状況、書籍売上・在庫数 (資料—30.2.1, pp. 7-8)  
齊藤事務局員より、資料に基づき平成30年度6月期までの予算執行状況及び5月期までの書籍売上げについて説明がなされ、確認された。また、書籍の在庫数について、「岩石の一軸試験方法」は0冊で増刷について検討が必要、「杭の水平載荷試験」は36冊で次回以降増刷について検討した方がよいとのことであった。
  - (2) 学会誌特集号（基準）執筆の役割分担 (資料—30.2.2, p. 9)  
仙頭部員より、資料に基づき説明がなされた。  
8月中旬までに趣旨文（会誌の巻頭言）および、執筆者（氏名、連絡先）を決定する必要があり、以下の方針で基準部長、仙頭部員が中心となって最終案を早急に詰める。
    - ・論説「国際基準との整合性」：浅田部員と木幡先生でISO関連について執筆
    - ・論説「国内基準について」：依頼中  
室内試験基準、地盤調査については、方針（切り口）を明確にしないと依頼しづらい。
    - ・報告「地盤工学用語」：伊貝部員と大島先生で執筆  
制定の経緯などを書いて欲しい。
    - ・報告「環境関連」：執筆者のついでには浅田部員、肴倉部員で相談
    - ・報告「杭・アンカー・施工関係」：執筆者検討中  
杭の基準等の国際整合性について執筆してもらうことも可能。
    - ・報告「地盤工学会基準の普及における英訳化の役割」：竹下祐二先生に執筆を依頼（内諾済み）
    - ・報告「建築基礎の実務と基準」：藤井衛先生に執筆を依頼（内諾済み）
    - ・全体のページ数をコントロールしながら、報告の中に、インド新幹線など、プロジェクトベースに関連した記事を加えることができればよい。
  - (3) その他  
特になし
- 【理事会報告】 3. 委員等の異動
  - (1) 室内試験規格・基準委員会  
特になし
  - (2) 地盤調査規格・基準委員会  
特になし
  - (3) ISO国内委員会
    - ① ISO/TC190/SC3/WG10 運営WG [受託] メンバーの退任  
・今井 一成（日立ハイテクノロジーズ）  
浅田部員より、提案がなされ、原案通り承認された。
  - (4) 地盤設計・施工基準検討委員会
    - ① WG6 杭の鉛直載荷試験基準改訂WGへのメンバー追加\*2018年5月21日メール審議済  
・若井修一（株）竹中工務店  
・横山雅樹（一社）コンクリートパイル建設技術協会／三谷セキサン（株）
  - (5) 表記法委員会  
特になし
  - (6) 技能試験実施委員会  
特になし
  - (7) 基準英訳化に関する実行委員会  
特になし
  - (8) 部員の異動・交代  
特になし
4. ISO国内委員会 関係  
特になし
5. 地盤工学表記法委員会 関係  
特になし
6. 室内試験規格・基準委員会 関係  
特になし
7. 地盤調査規格・基準委員会 関係  
特になし

8. 地盤設計・施工基準委員会 関係

特になし

9. 技能試験実施委員会 関係

特になし

10. 基準英訳化に関する実行委員会 関係

特になし

11. 基準部所管刊行物

【理事会報告】 (1) 『新規制定地盤工学会基準・同解説 岩石の一軸引張り試験方法(JGS 2552-2015)』の増刷  
(資料—30.2.3, pp. 10-14)

齊藤事務局より、資料に基づき増刷部数と経費について説明がなされ、審議の結果、30部増刷することになった。

12. その他

(1) 規格・基準が作成された後のWGの扱いについて

堀越部長より、規格・基準が作成された後は、WGを解散して主要メンバー(幹事)のみ親委員会に所属することにして、休眠WGを無くしたい旨の提案がなされ、この方針で検討を進めることが承認された。

報告事項

1. 理事会 (2018/4/20, 2018/5/18, 2018/6/15) 開催報告

(資料—30.2.4, pp.15-29)

堀越部長より、資料に基づき基準部関連事項について報告がなされた。

なお、理事会で指摘のあった次の事項について基準部内の確認が行われた。

- ・基準本の寄贈先について、従来は慣例として執筆WGと親委員会の全員に寄贈(40部弱)していたが、今後は執筆WGと親委員会委員長及び担当幹事を原則とする。
- ・現在、基準部が関わる委員会、WGには多数の招請委員が就任している。今後、経産省からの派遣など、業務の中で直接地盤と関わりを持っていない組織に属する委員に限り招請委員として推薦することを原則とする。また、国立研究開発法人などの方々も会員となっていただくよう、お願いしていく。
- ・新基準作成時の英訳化について、基準作成を担当したWGが基準英訳を行い、外注は行わない(基準部では和文英訳にかかる費用を負担しない)。なお、ネイティブチェックについてはWGメンバーの国際人脈を活用して海外の研究者や留学生等に協力してもらうことを推奨するが、事前に外部発注の費用見積もりを取り、基準部での審議を経たものについては認める方向で検討する。

2. 全体関係

(1) 基準部関係の規程・細則の確認

(資料—30.2.5 p. 30) (別添資料-1)

基準部規定はウェブサイト上で公開されているが、細則は言われない限りは存在がわからず、基準部が関わる委員会、WG内でどれほど、情報共有されているか不明。堀越部長より、資料に基づき説明がなされ、今後見直しをしたいとのことであった。

(2) JIS規格票の原案作成団体への寄贈分の取り扱い

・新規制定および改正のJIS規格が発行された場合、日本規格協会から原案作成団体にJIS規格票が10部寄贈される。

5月中旬に地盤工学用語(JISA0207)について寄贈があったため、仙頭部長判断で、「原案作成委員会(本委員会・分科会)の委員長・幹事に寄贈、残りは保管」とした。今後の寄贈分についても同様に扱う。

3. 部会・委員会関係

(1) ISO国内委員会

① 経産省受託事業 契約・実施計画書(広域地盤特性WG)

(資料—30.2.6 pp.31-41)

浅田部員より、資料に基づき報告がなされた。なお、齊藤事務局より旅費規程については総務部会で検討され、当該委員会にも報告した旨の報告がなされた。

(2) 地盤工学表記法委員会

特になし

(3) 室内試験規格・基準委員会

① JIS原案作成委員会分科会開催記録

(資料—30.2.7 pp.42-56) (別添資料-2, 3)

仙頭部員より、資料に基づき報告がなされた。

堀越部長よりWG開催による委員会費(交通費)が、現時点で予算の半分近くになっており、部会の予算を圧迫しかねない。会議での内容が技術的内容よりも言い回し等の修正が多いことも勘案し、今後は効率の良い開催をするよう指示がなされた(たとえば、大人数での開催は控える、遠方からの委員出席は最小限に控える等)。

② 基準への質問

(別添資料-4)

仙頭部員より、資料に基づき報告がなされ、基準書(赤本、青本、基本と手引き)への質問数が多く、回答作成にかかる担当WGメンバーの負担が大きくなっている現状が示された。また非会員からの質問が多いこと、個人の業務に関する相談のような質問も増えてきており、質問と回答の方法について今後検討を行う必要があるのではないかとの問題提起がなされた。

(4) 地盤調査規格・基準委員会

① 第1回地盤調査規格・基準委員会報告

(資料—30.2.8 pp.57-59)

武政部員より、資料に基づき報告がなされ、「水圧破砕の試験法」の英訳化の費用は、冊子の販売価格に上乗せすることになったとのことであった。

【理事会審議 (JSA 公募への応募)】② WG16 スウェーデン式サウンディング試験方法 JIS 改正 WG 進捗状況  
(資料—30.2.9p.60)

武政部員より、資料に基づき報告がなされたが、JSA 公募への応募であるため理事会での審議が必要であることが指摘された。また、齊藤事務局員より、予算計上をしていないため JAS に採択され補助金が給付されるまでの間は親委員会で費用を負担することになる旨、説明がなされた。本件、堀越部長が詳細を把握した上で、7月20日の理事会にて、①公募に応募する必要があること、②会議開催の未計上分費用は、部会全体の予算でやりくりする(せざるを得ない)こと、を報告することになった。

- (5) 地盤設計・施工基準委員会  
特になし
- (6) 技能試験実施委員会  
特になし
- (7) 基準英訳化に関する実行委員会  
特になし
- (8) ウェブページ

・部会・常設委員会ページの掲載事項の追加 (WG 名簿) (資料—30.2.10p.61)  
常設委員会の WG のページは希望に応じて作成していたが、堀越部長の要請で WG ページの作成・名簿の掲載と更新を行うことになった。

4. 日本工業標準調査会 土木技術専門委員会  
特になし

5. 審議中の規格・基準

基準名	担当		承認 (提出)					検 討 結 果	一 覧 *	刊行
	委員 会	WG	部会	理事会 [報告]	公 示	部会 (公 示 後案)	理 事 会			
過酸化水素水による土及び岩石の酸性化可能性試験方法	室内	4			2015 11・12月号		2016 3/15	2016 5月号	済	2017年12 月**
地下水面上部の地盤を対象とした透水試験方法基準	調査	10	2015 11/5	2015 11/24	2016 2月号	2017 11/6	2017 11/24	2018 2月号	済	2018年5月 **
水圧破碎法による初期地圧の測定方法	調査	3	2016 1/7	2016 1/26	2016 4月号	2017 11/6	2017 11/24	2018 2月号		
低透水材料の透水試験方法	室内	9	2017 11/6		2018 1月号					
[改正] 岩石の弾性波速度計測方法 (旧: JGS 2110-2009 パルス～)	室内	4	2018/ 3/6							
軟岩の変形特性を求めるとの繰返し三軸試験方法	室内	4	2018/ 4/20							
岩石の供試体の作製方法	室内	4	2018/ 4/20							
JIS 規格素案 (改正 7 件) 1202-1204,1216,1225,1226	室内	1	2017/ 7/4	2017/ 7/28	2017 10月号	2018/ 3/6	2018/ 3/16	2018 5月号		赤本 2019 予定
JIS 規格素案 (改正 7 件) 1201,1205,1209,1223,1224,1210,1211,1228	室内		2017 /9/7	2017/ 9/29	2017 11・12月号	2018/ 3/6	2018/ 3/16	2018 6月号		赤本 2019 予定
JIS 規格素案 (改正 3 件) 1217, 1218, 1227	室内	3	2017 11/6	2017/ 11/24	2018 1月号	2018/4 /20	2018/ 5/20	2018 7月号		赤本 2019 予定

\*地盤工学会ウェブサイト 「基準一覧」への掲載 \*\*小冊子での刊行

6. 日本工業規格 (JIS)

規格名	担当		JSA 公 募	JSA 提 出	CSBとし ての意見 募集	申 出 完 了 連 絡	WTO/ TBT 公 告	土木技術 専 門 委 員 会	官 報 告 示・規格票 発行
	委員 会	WG							
地盤工学用語 JIS A	表 記 法	-	○		-	2017 9/1		2018 3/2	2018/4/25

動的コーン貫入試験 方法 JIS A	調査	11	○	-	2017 9/1	2018 3/2		
ジオシンセティック ス用語 JIS A	室内	6	○	2017/4/2 から 5/1				

7. 部会・委員会・WG 開催状況

委員会・WG 数: 常設委員会 6、常設委員会の WG:33 (内、受託:2)、JSA 公募原案作成:3、その他:1 計: 43

委員会名	長	委員会開催日、 <u>下線</u> は開催予定	前
基準部会	仙頭 紀明	4/20, 7/3	5
ISO 国内委員会	浅田 素之		1
・WG1: TC182 国内専門委員会	木幡 行宏		-
・・広域地盤特性評価法 WG [受託]	宮田 喜壽		1
・WG2: TC190 国内専門委員会	川端 淳一		1
・・TC190/SC3/WG10 対応 WG [受託]	坂井 宏行		7
・WG3: TC221 国内専門委員会	椋木 俊文		-
室内試験規格・基準委員会/JIS 原案作成委員会本委員会	豊田 浩史		-
・WG1 物理特性/JIS 原案作成委員会分科会	杉井 俊夫	4/17, 8/10, 6/5, 6/27, <u>7/12</u>	1
・WG2 化学特性/JIS 原案作成委員会分科会	肴倉 宏史	5/28, <u>7/30</u>	3
・WG3 透水・圧密特性/JIS 原案作成委員会分科会	渡部 要一	6/25,	1
・WG4 力学特性/JIS 原案作成委員会分科会	澁谷 啓	<u>7/9</u>	3
・WG5 安定化・締固め特性/JIS 原案作成委員会分科会	横田 聖哉	5/14, 5/28	3
・WG6 ジオシンセティックス	木幡 行宏		1
・JIS 原案作成委員会 (ジオシンセティックス用語)	木幡 行宏	4/6, 6/1*, *は本委員会	3
・WG7 特殊土の試験	風間 基樹		
・WG8 赤本改訂版の総説執筆	豊田 浩史		
・WG9 低透水性土質材料の透水試験方法基準化	西垣 誠		
・WG10 「土質試験 基本と手引き」改訂	大島 昭彦		
地盤調査規格・基準委員会	末政 直晃	6/20,	1
・WG1 物理探査・検層	斎藤 秀樹		1
・WG2 ボーリング・サンプリング	正垣 孝晴		
・WG3 地下水	進士 喜英	6/25, <u>7/25</u>	3
・WG4 サウンディング	大島 昭彦		
・WG5 載荷試験	大島 昭彦		
・WG6 現場密度試験	三嶋 信雄		
・WG7 現地計測	上野 将司		
・WG8 環境化学分析のためのサンプリング	江種 伸之		
・WG9 地盤調査の計画、資料調査・地質調査	長田 昌彦		
・WG11 動的コーン貫入試験方法 JIS 規格化 WG	大島 昭彦		-
・JIS 原案作成委員会 (動的コーン貫入試験方法)	末政 直晃		2
・WG13 水圧破碎による初期地圧測定法の基準化検討WG	伊藤 高敏	<u>7/25</u>	3
・WG15 岩盤の原位置一軸・三軸試験方法基準化検討 WG	谷 和夫		1
・WG16 スウェーデン式サウンディング試験方法 JIS 改正 WG	大島 昭彦	5/9, <u>6/29</u>	
地盤設計・施工基準委員会	木幡 行宏		
・WG1 土構造物	本城 勇介		
・WG2 杭の水平載荷試験	中井 正一		
・WG3 グラウンドアンカー	山田 浩		
・WG4 サンドコンパクションパイル工法	寺師 昌明		
・WG5 地山補強土	龍岡 文夫		
・WG6 杭の鉛直載荷試験方法の改定検討	菊池 喜昭	5/14, 6/18,	3
地盤工学表記法委員会	大島 昭彦		
・JIS 原案作成委員会 (地盤工学表記法)	大島 昭彦		
技能試験実施委員会	日置 和昭		3
基準英訳化に関する実行委員会	竹下 祐二		2

7. その他

- (1) 理事会 (7月20日 (金)) への審議事項・報告事項
  - ・審議 3.委員等の異動、報告: JIS規格改正素案・地盤工学会基準の公示報告
- (2) 総務部会 (2018年7月13日 (金) 開催予定) への提案事項
- (3) 次回以降の部会開催日
  - ・2018年度 (平成30年度) 第3回: 2018年9月10日 (月) 14:00~17:00  
(対応理事会 9月28日 (金) or 書面10月26日 (金))

★ 2018年度 (平成30年度) 理事会 開催日程 (予定含む)

1. 4月20日(金) ※書面審議
2. 5月18日(金)
3. **6月6日(水) 総会/理事会**
4. 6月15日(金) ※書面審議
5. 7月20日(金)
7. 9月28日(金)
8. 10月26日(金) ※書面審議
9. 11月30日(金)
10. 12月21日(金) ※書面審議
11. 1月25日(金)
12. 2月22日(金) ※書面審議
13. 3月15日(金)

- 
1. 4月19日(金) ※書面審議
  2. 5月17日(金)
  3. 6月7日(金) 総会/理事会
  4. 6月14日(金) ※書面審議